

# 平成30年度 福井県立金津高等学校 学校関係者評価書

## 協議題

- ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策、向上策が適切かどうか。
- ・その他

## 御意見を伺った方々

学校関係者評価委員会：あわら市教育長（本校育成会代表）、芦原中学校長、金津中学校長  
地域住民代表、同窓会長、PTA会長、PTA副会長、学校長

## 御意見

### ◇学習指導・地域連携（中高一貫）

- ・中高一貫教育事業について本校教職員の評価が下がったのは、生徒の学力幅が大きく、学習が遅れがちな生徒への指導の大変さが理由の一つにあると考えている。
- ・中高一貫教育事業について、連携中学校関係教員の評価が上がったのは、今年度中学校側で中高一貫教育が行われるようになった経緯や目的をまとめた資料を配付して説明したことが、良い方向に影響したのではないかと考えられる。
- ・1年生から導入したeポートフォリオシステムについては、生徒が家庭で取り組んだことを週1回のペースで入力したものを教員が把握したり、生徒への連絡ツールとして利用したりしている。

### ◇生徒指導

- ・学校祭ではリーダーに不向きな子になった場合も見られたようだが、生徒の可能性を伸ばすという点では良いことだと思われる。しかし、全ての保護者がこの点を理解できているかは疑問である。
- ・いじめ防止について、教職員の中で1人だけ「あまり取り組んでいない」と答えた者がいるが、アンケート結果を教員全体に伝えて、注意喚起してほしい。
- ・中高一貫連携クラスの生徒で学習が困難な生徒は、学校生活も面白くないのではないかと。これからはしっかり一人ひとりフォローしてほしい。
- ・スマホの使い方については、高校・中学校ともルールを作って指導している。校内や家庭での使い方だけでなく、街中での歩きスマホや自転車スマホについてももっと注意喚起してほしい。

### ◇進路指導

- ・高校の模試の数は、県模試だけで1年が3回・2年が4回・3年が6回ある。3年は他にも業者模試が6回以上ある。
- ・アンケートの質問項目が変わり結果が低く出たことについては、課題が明確になったと考えている。
- ・模試の結果が返ってくるのが遅い。業者への要望も含めて対応してほしい。
- ・あわら市国際交流（米国・中国派遣）に高校生の応募が少ない。あわら市の金津高校の生徒を応援する施策であり、今後もっとPRしてほしい。

### ◇保健管理

- ・整理整頓ができているかは家庭でのしつけの問題ではあるがアンケートされると良い評価はつけにくい。「学習環境を整えるように努めているか」など質問を変えたらどうだろうか。
- ・教職員トイレの掃除担当になった生徒が「トイレが汚い」と言っていた。教職員自らが模範を見せてほしい。

### ◇開かれた学校づくり

- ・「県のシステム変更により、ホームページによる広報がうまくいかず」とはどういうことか。ホームページは学校と家庭をつなぐ大事なものであるため、問題があるなら再度県へ打診を。

### ◇図書指導

- ・「朝読書は読書習慣にあまり効果はない」「～効果はない」と評価する保護者が何人かいることに関してはどうみているのか。朝読書しているところを保護者が見たことはないと思うので、評価が難しいのではないかと。質問を変えてみたらどうだろうか。
- ・センター試験や大学入試新テストを見ると、ますます「読解力」が必要だと考える。
- ・図書室の展示の良さや充実ぶりには感心させられる。

### ◇全体（総括）

- ・学校評価書の成果と課題およびそれらを踏まえた今後の改善策、向上策は適切である。

### ◇学校関係者評価を踏まえた今後について

- ・今年度の学校評価の結果および学校関係者評価に基づき今後の課題について改善・工夫を行い、次年度のスクールプラン、教育方針・教育目標に活かしていく。